



Vol. 82

2014年
1月号

Shonankamakura General Hospital

しょうなんメール

理念

「生命を安心して預けられる病院」
「健康と生活を守る病院」

Contents

2 P〈新年のご挨拶〉

・院長より 2014年 新年のご挨拶

3 P〈トピックス〉

・医療安全品質改善大会が行われました

4 P〈救命救急センターより〉

・救命救急センターへ来院し、当院へ入院された
救急患者さんの疾患系統別割合について

6 P〈世界糖尿病デー〉

・世界糖尿病デー フェスティバル in 鎌倉が開催されました

8 P〈病院案内〉

Help yourself
ご自由にどうぞ

謹賀新春

2014年新年のご挨拶

平成26年の新年が明けました。

昨年秋には徳洲会公職選挙法違反容疑で、当院も東京地検特捜部による家宅捜査を受けました。現在捜査中ですが、当院のご利用者様、職員には多大なご迷惑とご心配をおかけしており院長として深くお詫び申し上げます。今後の事件の推移に適切に対応するとともに、謙虚に反省し、今後の病院運営の中に活かしてゆきたいと存じます。

また昨年は地球温暖化の影響でしょうか、異常気象の連続で各地に想定外な規模の竜巻や集中豪雨、洪水、山崩れなどが多発、地震も頻発して、大災害が身近にあるのではないかという恐怖が現実味を帯びるような年でした。

湘南鎌倉総合病院は、昨年4月に神奈川県で民間初の救命救急センターとして認可され、救急用ICU10床を含め救急病床20床を新設、8月からは外傷センターを発足させ、24時間体制で常時重度外傷患者さんも含め全ての救急患者さんを受け入れることができるようになりました。ヘリコプターによる救急搬送も多くなり、災害に対応できる診療体制の充実に努めております。大地震を想定した災害訓練も回数を重ね、職員個々が災害時に患者さんに安心を与えるだけでなく、きちんとした役割を果たせるようにシミュレーションを重ねております。昨年6月には鎌倉市と防災協定の調印を交わしました。ライフラインにつきましては、以前より地下水利用を行っていましたが、10月には非常電源装置を増設し、ガスによるコジェネ発電と合わせると、大規模停電時にも1週間程度は何とか診療可能な電源を確保できるようになりました。これからも更なる施設、診療体制を充実させ、災害時には地域医師会と連携をとって、地域に役立つ診療拠点となりうる体制を整えてまいります。

また今年度は、高齢化と共に増加しているがん診療について、旧病院の跡地に仮称先進医療センターを建設し、高度放射線治療機器をそろえたがん診療センター、幹細胞移植センターを発足させます。また地域に不足しているお産センターの着工も始まります。

湘南鎌倉総合病院は、常に「患者さんのために何ができるか」を追求し、安心と安全な医療を提供する病院として、地域医療に全力で取り組むとともに、新しい医療にも挑戦して更なる進化を果たしてまいります。

引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

塩野 正喜

Shiono Masaki

医療法人 沖縄徳洲会
湘南鎌倉総合病院 院長



訓練で使用した
薬（見本）とストレッチャー

2013年11月29日（金曜日）

医療安全品質改善大会が開催されました。



2013年11月29日金曜日に、医療安全品質改善大会が開催されました。

1年に一度行われるこの大会は、院内で行われる日々の業務において、「患者さんの安全」と、「医療の安全のための品質の改善」の取り組みと成果について部署ごとに発表し、評価を行うものです。

この日は、10：00から1時間の休憩をはさみ、16：00まで行なわれ、診療部から診療支援部、看護部、事務部門など病院全体の部署から、議題が出されました。「正しい患者確認法についての実施率」「入院時アセスメント」や、「輸血モニタリングの改善」「転倒転落減少に向けてのリスク委員会の取り組み」など、その他医薬品の管理、病棟での取り組みについて午前の部で10演題、午後の部で10演題の、合わせて20演題が発表されました。1講演につき、10分ほどの発表が行われ、その後 発表についての質疑応答があり、活発な意見交換がありました。

患者満足度調査にご協力ありがとうございました

2013年11月11日から、外来患者さんには2日間、退院患者さんには8日間、患者満足度調査にご協力いただき、外来患者さんからは521名の方に、退院患者さんからは174名の方にご回答をいただくことができました。

今回のアンケート結果は、集計し、今後の改善に役立たせて頂きます。また、集計した後は、患者さんの声コーナーにて結果を公開させて頂きます。

皆様の貴重なお時間をいただいてご回答いただき、ありがとうございました。



外来



入院

救命救急センターへ来院し 当院へ入院された 救急患者さんの疾患系統別割合について

前回までのしよなんメールvol.79・vol.81（2013年10月・12月号）では、当院の救命救急センターへ救急車で搬入された救急患者さんの受け入れ実績と、その後の転院状況について救命救急センター顧問の福田充宏医師と、同センター長の大淵尚医師にコメントをいただきました。

今回は、当院救命救急センターが本年4月に神奈川県指定を受け、運用開始となってから9月末までの半年間に入院された救急患者さんが、どのような原因の疾患系統で入院されたのかについてお示します。

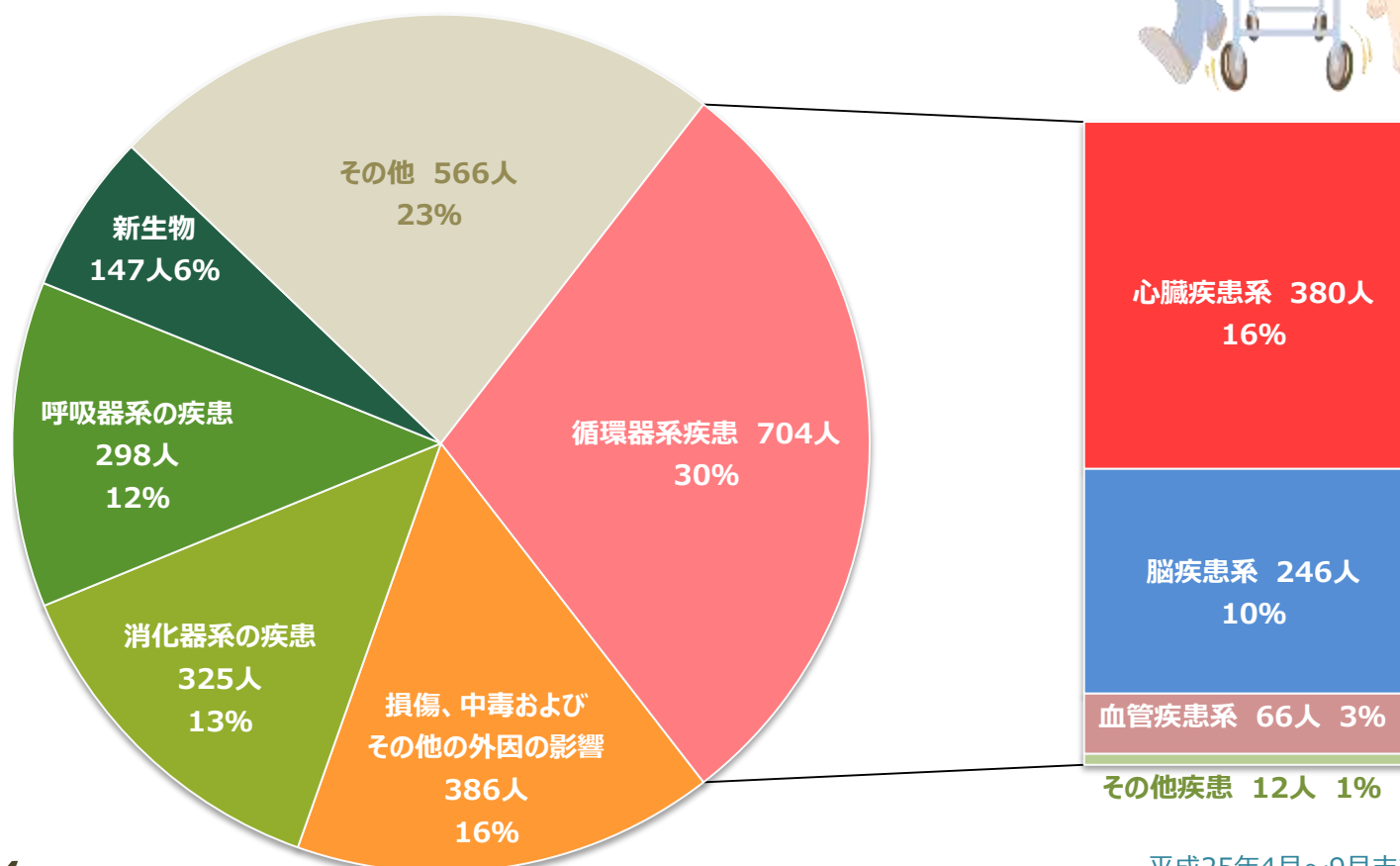
この期間の当院における全入院患者さん10,793人のうち、通常の予約入院の患者さんを除いた救急の入院患者さんは4,946人（全入院患者さんの46%）。うち救急車で来院され、入院となった患者さんは2,426人（救急入院患者さんの49%）。自家用車等で来院され、入院となった患者さんは2,520人（51%）で、それぞれ約半数に二分されました。

救急車で来院し入院された患者さん2,426人の疾患系統別割合を、WHOによる国際疾病分類（ICD-10）に従って、図1に示しました。

循環器系の疾患で入院された患者さんが最も多く704人（30%）を占め、うち心筋梗塞などの心臓疾患系が380人（16%）、脳卒中などの脳疾患系が246人（10%）、血管疾患系が66人（3%）、その他の循環器系疾患が12人（1%）でした。続いて、外傷を代表とする損傷、中毒およびその他の外因の影響が386人（16%）、消化器系の疾患が325人（13%）、呼吸器系の疾患が298人（12%）となっており、これらの4系統の疾患で全体の71%を占めています。

図1 救命救急センターへ救急車で来院し入院された患者さんの疾患系統別割合

n = 2,426

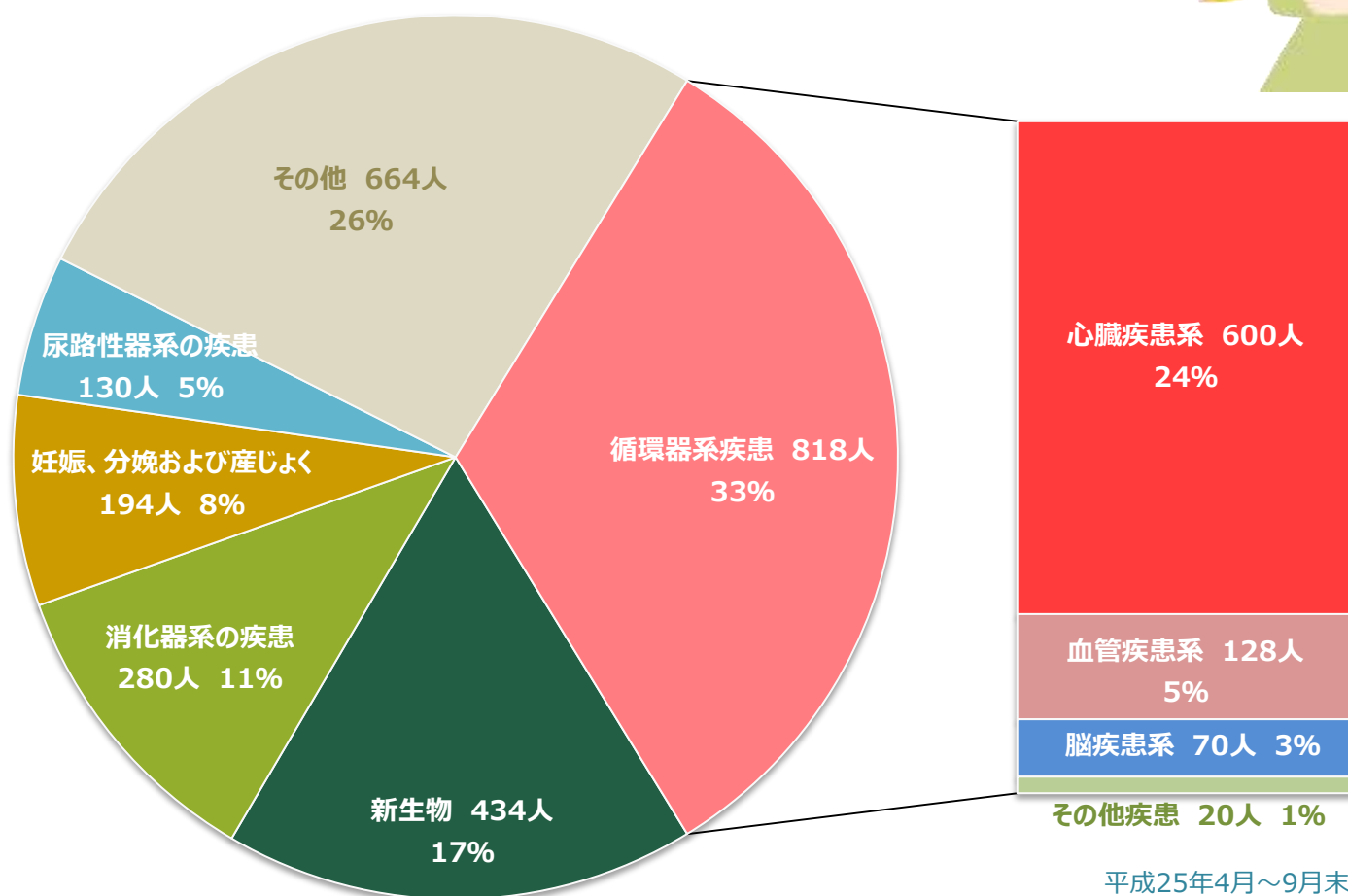


一方、図2に示しましたように自家用車等で来院され入院となった患者さん2,520人の疾患系統別割合では、循環器系の疾患系統が818人（33%）を占め、うち心臓疾患系が600人（24%）、血管疾患系が128人（5%）、脳疾患系が70人（3%）、その他の循環器疾患が20人（1%）でした。続いて、癌を代表とする新生物が434人（17%）、消化器系の疾患が280人（11%）、妊娠、分娩および産じょくが194人（8%）となっており、これら4系統の疾患で全体の69%を占めています。

図2

救命救急センターへ自家用車等で来院し入院された患者さんの疾患系統別割合

n = 2,520



このように、当院においては救急車で来院し入院された患者さんと、自家用車等で来院し入院された患者さんの疾患系統は若干異なりますが、共に循環器系の疾患系統が全体の約3割を、特に心臓疾患系が最も多くを占めています。また、心臓疾患系の入院患者さんに続いて、救急車で来院された場合は脳卒中などの脳疾患系疾患と外傷、呼吸器系疾患が、自家用車等で来院された場合は、癌に付随した病態の悪化、妊娠、分娩などによる場合が多くを占めていることがわかります。

以上、24時間365日、多種多様な原因で当院に来院され、緊急入院が必要な救急患者さんすべてを支障なく受け入れることができるよう、施設・設備、人員等を含めさらに整備していく努力をしております。

2013年11月10日 世界糖尿病デー

今回の標語

”Diabetes : protect our future”
「糖尿病:私たちの未来を守ろう」



イベント会場前

2007年から始まった糖尿病デーのイベントも今回（2013年）で7回目になりました。鎌倉でのブルーライトアップは、当院の糖尿病内分泌内科の社寺への働きかけにより実現し、それ以来毎年行っています。

長谷寺さんはライトアップに加えイベントにもご協力していただき、4年前から毎年観音堂前を会場に提供してくださっています。イベント当日は近隣の調剤薬局の薬剤師さん、クリニックの看護師さんも応援に来ていただき、日ごろからの連携が大きな力になっています。地域全体で糖尿病の発症予防、合併症の進展予防に取り組むことができています。

オバマ大統領が鎌倉大仏を見学に来た時、厳戒態勢の中開催できたのは広報の方の力強いバックアップがあってこそでした。皆さんの糖尿病の啓発に対する情熱とチーム力で継続して毎年開催することができています。

今年の開催のお知らせは江ノ電の中吊り広告、鎌倉駅の改札口にポスター掲示、観光案内所にパンフレットを設置など様々な形で行いました。その甲斐あって、ブルーライトアップやイベントには多くの方が参加してくださいました。大仏様のライトアップにも多くの方がみえ、点灯の瞬間には大きな歓声が上がりました。

イベントは去年同様、終わりごろに雨が降り出し、30分早めに終了となりましたが、約500名の方が参加しました。筋力測定には多くの方が興味を持ち、測定には列が出来るほどでした。湘鎌愛情弁当は今年も人気でした。無料血糖測定では血糖高値で医療相談を受けた方が何人かいらっしゃいました。糖尿病の早期発見・早期治療につながられたのではないのでしょうか。



高德院：鎌倉大仏



長谷寺観音堂前の
会場の様子



当日スタッフが
着用した
ユニフォーム

フェスティバル In 鎌倉 が開催されました

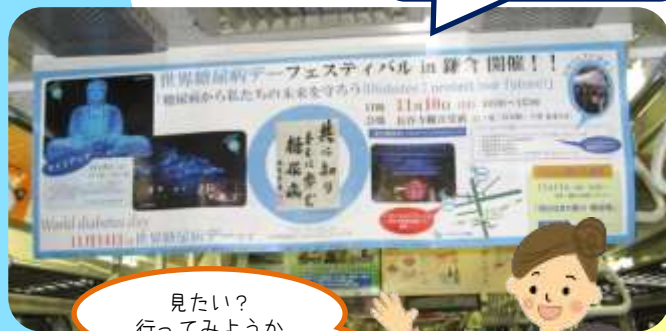
また、国際医療部の協力のおかげで外国の方とも交流を持つことができ、血糖測定をいただけていました。日本に来て観光だけでなく健康に目を向けて自国に帰って、少しでも糖尿病の予防について情報を広めてくれればと思います。日本人も同様で、鎌倉観光には全国からたくさんの方がみえているので、その方々が自分の暮らす街に戻り糖尿病の正しい情報・知識を広めてくれることが、観光地鎌倉で啓発活動を行う大きな意義になっていると思います。歴史を守る鎌倉の地で皆さんの健康を守っていく活動を今後も続けていけることを願いながら、今まで協力してくださった方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。



長谷寺：観音堂



江ノ電の中吊り広告を見ながら話している親子がいました。



見たい？
行ってみようか

行きたーい！

糖尿病は、今世界で3億8200万人います。7秒に1人世界のどこかで糖尿病が原因で命を落とし、20秒に1本足を失っています。日本では40歳以上の3人に1人が糖尿病か糖尿病予備軍と言われています。糖尿病の治療は医療者と患者さんとが一緒になって取り組んでいく疾患です。一人では大変かもしれませんが、みんなの力を合わせたらきっとうまくいきます。

自分を信じて、自分の道を信じて、Unite for Diabetes !!
(団結して糖尿病に立ち向かいましょう！！)



参加したスタッフ



7ム7ム

鎌倉駅では好位置にポスターを貼っていただきました。





医療法人 湘南鎌倉総合病院
沖縄徳洲会



〒247-8533
神奈川県鎌倉市岡本1370-1
Tel : 0467-46-1717(代表)
Fax : 0467-45-0190
URL : <http://www.shonankamakura.or.jp>

ご来院される方にシャトルバスの運行も行っております。詳しくは院内で配布のシャトルバス時刻表が、ホームページをご覧ください。

また、「しょうなんメール」のバックナンバーもホームページでご覧いただけます。

湘南鎌倉総合病院

検索

公共交通機関でお越しの方へ

下記は運賃がかかります。ご了承ください。

大船駅より来院される方

●大船駅西口（大船観音側）

- 1番乗場 神・船32 渡内経由
「藤沢駅北口」行
公会堂前下車 神・船101・102 公会堂前経由
「城廻中村」行

- 2番乗場 神・船34 「南岡本」行

南岡本下車

●大船駅東口交通広場ターミナル
（湘南モノレール駅下バスターミナル）

- 2番乗場 江・藤沢[弥]大船
南岡本下車 武田薬品前～弥勒寺経由
「藤沢駅」行
江・南岡本経由 「四季の杜」行

藤沢駅より来院される方

●藤沢駅北口（さいか屋・ビックカメラ側）

- 4番乗場 神・船32 柄沢橋・渡内経由
「大船駅西口」行
公会堂前下車

- 9番乗場 江・藤沢[弥]大船
南岡本下車 弥勒寺～武田薬品前経由
「大船駅」行

●藤沢駅南口（小田急デパート側）

- 8番乗場 江・5301 アズビル前～
武田薬品前経由
湘南鎌倉総合病院下車 「湘南鎌倉総合病院」行

Access Map



駐車場利用 について

湘南鎌倉総合病院駐車場

	地上	地下
営業時間	0:00～24:00	7:00～21:00
台数	28台	231台
	患者	一般・面会
料金体系	最初2時間 200円 以降1時間 100円	1時間 200円

※患者さんは診察券が無いと一般料金となります

コーナン鎌倉モール
1時間 200円 当日最大1000円 お買い上げで180分無料